

標記丸善株式會社從業員解雇一狀況 = 開レテハ昨衆、
履其後、狀況左記、通

記

二、会社側、狀況

會社側ニ於テハ不良從業員解雇後是等、便職ニ依リ
一般從業員、動搖スルヲ虞シ本店及市内各支店ニ相
當、警戒員ヲ派シ且ツ寄宿舍居住、從業員ニ對シテ
ハ本勤退社、際引率者ナ附シ警戒スル等、措置ヲ講
シ居レリ

二、被解之有側、狀況

今回解雇セラレタル戸泉、小島、萩田、山岡、鶴馬等ノ既報
一通常年八月頃ヨリ最ニ解雇セラレタル関東出版界

労組合員高橋、松三郎、佐々木、若等ト連絡其、指導、
受ケテ同組合、組織擴大、為本組織、組合會、組織シ
更ニ會社共濟會内ニ自主化同盟ナルハル、¹⁷⁰組織
ニ全從業員、左翼化ニ齋心ニ現在約百二十名、加盟
者ナ得失別記、如キ印刷物、作製織布シ之、宣傳ニ
就メツ、アリ現在ニ於ケル會社内左翼分子、狀況別
表、如キ構成ヲ見ルニ至レリ

而シテ被解雇者小高、小高、近藤、笠島、田嶋、山岡、詫門、小林
猪俣、久名、八時十四日午前本社、訪問シ社長代理加藤
謙七郎（署証）伊藤文配人ト面接シ解雇理由、表示
ト過、且ツ今回、解雇ハ不當ナリト詰、タル文加藤
伊藤、兩名、理由ヲ表示セルヲ各自將來ノ利益